

KES 審査登録事業者：最高責任者様

KES エコロジカルネットワーク

2025 年度・取組み参加のご案内

特定非営利活動法人 KES 環境機構
(事務局) 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は KES の取組みにつきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2014 年度 18 事業所からスタートした「KES エコロジカルネットワーク (※)」の取組みも皆様方の多大なご賛同により定着し 2024 年度は 250 事業所で取組みいただくまでになりました。

2025 年度は昨年度の枠組みを原則継続して下記取組みとします。近年、あらゆるセクターで生物多様性保全への関心が高まっており、多くの KES 登録事業者様のご参加をお待ちしています。

[2025 年度の取組み] 下記 3 項目とします。

- (1) 希少植物の生息域外保全活動：希少種栽培植物として、今年度新規に配布する種は次ページ「申込書」に記載した 6 種類（これらは京都市の「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」認定の対象）とします。P3 に比較表を添付しましたので、種類選定の参考にしてください。
- (2) 自社敷地内の緑化活動：屋上緑化、壁面緑化、地上緑化、雨庭緑化
- (3) その他生態系保全活動：まちなかの緑化、里山里地保全活動、KES 推奨の活動への参加など。

詳細な内容につきましては、「KES ホームページ・トピックス」(<http://www.keskyoto.org/>) の「KES エコロジカルネットワーク・2025 年度取組み基準」をご参照ください。

[申し込み方法・内容説明<(1)(2)(3)共通>・栽培セットお渡し<(1)のみ> について]

1. お申し込みは、次ページ「申込書」に必要事項をご記入いただき、**3月31日(月)までに**、下記アドレスへ FAX または E-Mail でご送信ください。なお、**継続される組織様も返信ください。**
2. 具体的な取組みに際しては下記日程を予定しますが、もし変更のあった場合は都度、Fax、Mail、ホームページなどでお知らせします。
 - ① **内容説明**はこの活動の意義や活動メニューの詳細、希少種の定植・育成の方法、KES 改善目標への取り組み方などをホームページで資料や動画をご覧ください形で行います。
 - ②③ **苗渡し・栽培実習**は上記(1)で、今年度新たに苗等を購入される方に栽培セットをお渡しします。その際、苗の植え付けや育成の注意点などを植物ごとにご説明し、その場で鉢への植え付けを行っていただくことができます。

・ 申込み期限	3 月 31 日 (日)
① 内容説明	日 程：4 月中旬以降を予定 KES ホームページ上で公開
② 苗渡し(1)	日 程：5 月中旬～下旬の指定期間 対象種：フタバアオイ、ヒオウギ、アヤメ 場 所：京都市都市緑化協会 円山事務所
③ 苗渡し(2)	日 程：6 月中旬～下旬の指定期間 対象種：フジバカマ、キクタニギク、ワレモコウ 場 所：京都市都市緑化協会 円山事務所

3. 本取組みに参加していただきますと、上記①希少植物の生息域外保全活動、②自社敷地内緑化活動、③その他生態系保全活動、の項目ごとに KES 環境マネジメントシステムの環境改善目標の一環として取り組んでいただけます。

4. 本件に関するお問い合わせ先：

(申込先) 特定非営利活動法人 KES 環境機構 TEL: 075-342-1170 FAX: 075-342-1177
(ネットワーク事務局) 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 TEL: 075-647-3535 FAX: 075-641-2971
＜申込みは KES 環境機構へお願いします。以降の連絡は(事務局)京都市環境保全活動推進協会が担当します＞

[参考] (※)「エコロジカルネットワーク」：野生生物が生息する様々な空間がつながる生態系のネットワーク

インボイス制度への対応に伴い、昨年度より頒布代金の振り込み先が、KES 環境機構から (公財)京都市都市緑化協会に変更となっておりますのでご注意ください!

2025 年度 KES エコロジカルネットワーク 新規参加・活動継続 (どちらかに○) 申込書

団体名		部署名(職位)	
電話番号		担当者名	
FAX		E-Mail	

記入方法

初めて参加⇒希望される新規取組欄に記入ください

現在取組中で植物や活動を追加したい⇒取組状況欄記入の上、追加を希望される新規取組欄記入

現在の取り組みをこのまま続けたい⇒取組状況欄にのみ記入して**必ず提出ください**

1. 希少植物の生息域外保全活動

限定鉢数の植物は3鉢以内でお申込みください

希少植物名	今年度新規取組			昨年度までの取組状況				
	今年度頒布価格 (一鉢当たり)	限定鉢数 (先着順)	希望 鉢数	取組 鉢数	生育状況			
					良好	普通	枯死	その他
A フタバアオイ	¥5,500	—						
B フジバカマ	¥5,500	—						
C ヒオウギ	¥3,630	30						
D キクタニギク	¥4,070	20						
G アヤメ	¥3,520	30						
H ワレモコウ	¥3,520	30						

※頒布価格はすべて消費税(10%)込みです。

2. 自社敷地内緑化活動

緑化の内容	今年度新規取組			昨年度までの取組状況		
	希望取組に○	使用草木種	実施予定 (年/月)	現在取組に○	使用草木種	現在の状況
① 屋上緑化						
② 壁面緑化						
③ 地上緑化						
④ 雨庭緑化						

3. その他の生態系保全活動

活動内容		新規取組		取組状況	
		希望取組に○	要望事項等	現在取組に○	現在の状況
① まちなかの緑化活動					
② 里山里地保全活動	ア.京都モデルフォレストの活動に参加				
	イ.「宝が池の森」保全・再生の活動に参加				
	ウ.その他 ()				
③ KES エコロジカルネットワークが推薦する活動に参加する					

【付表】希少植物の生息域外保全活動 植物栽培方法等の比較表

(注 1) 実生……種子から発芽した苗を育てること

(注 2) 少なくとも平日（毎日）の管理ができる場合の育てやすさ

種名（科名）		レッドデータブックの掲載ランク	花期	自生地の環境	栽培環境・方法（容器栽培として）		更新・繁殖の方法	育てやすさ（注 2） 5(易)～1（難）
					日 照	水やりの注意	【交雑しやすい植物は実生(注 1)を推奨しない】	
A	フタバアオイ （ウマノスズクサ科）	—	3～5 月	落葉樹林の下、 谷間の法面	春先は明るい場所、5 月 は半日陰、6～9 月は日 陰に。	水はけの良い土で、ムし ないように。5月～9月 は乾燥に注意する。	株分け、実生	3
B	フジバカマ （キク科）	環境省準絶滅危惧 （NT） 京都府絶滅寸前種	（ 1 年 目）9 月 下 旬 ～ 10 月	川の堤防、水田 周辺などの明 るい水辺	日当たり好む。盛夏の西 日は苦手。	盛夏は受け皿で腰水灌 水し、1 日 2 回（どうし ても不可能な日は日陰 に置く）	挿し芽、株分け （親株の 3 年目以 降は更新を推奨）	4
C	ヒオウギ （アヤメ科）	京都府準絶滅寸前種	7 月中旬 ～9 月	海岸の草地、海 岸林、山の草地	日当たり好む。	乾燥には強いが、花期 前・盛夏は日射と乾燥に よる葉焼けに注意。	株分け、実生	5
D	キクタニギク （キク科）	環境省準絶滅危惧 （NT） 京都府絶滅危惧種	11 月～ 12 月上 旬	河川の乾いた 法面、山麓の土 手	日当たり好むが、盛夏の 日射は苦手。短日植物な ので、夜間照明の近くに 置くと開花が遅れる。	乾燥にはやや強いが、盛 夏の乾燥には注意	挿し芽、株分け （親株の 3 年目以 降は更新を推奨）	4
G	アヤメ （アヤメ科）	京都府絶滅危惧種	5月	山地のやや乾 いた草原	日当たり好む	乾燥にはやや強いが、盛 夏は乾燥に注意	株分け（1～2年に 1 度の植替え時）	4
H	ワレモコウ （バラ科）	—	7 月 ～10 月	日当りのよい 丘陵の湿性地 など里草地	日当たり好む、盛夏の西 日は苦手	乾燥にはあまり強くな い。夏は特に注意する。	株分け、実生	3